

出前講座「認知症サポーター養成講座」を実施中です

市内には、約2,200人の認知症の方がおられ、その数は年々増加傾向にあります。

市では、みんなで正しく認知症を理解し、高齢者の尊厳ある生活を守るために、「丹波市認知症サポーター養成講座」を実施しています。

講師役は、「キャラバンメイト」と呼ばれる認知症の研修を受けた方で、現在、78人の方が登録されています。

自治会や団体、職場などで講座を開いてみませんか。ご希望の際は、予定の45日前までにお申し込みください。



講師である「キャラバンメイト」が教材として使う「紙芝居」と「テキスト」を作成しました。今後、これらを活用し、よりわかりやすい講座を展開する予定です。

☎ 高年齢あんしんセンター（春日庁舎 介護保険課内） ☎ 74 - 0368

あなたの声をお聞かせください

市政情報

「丹波市水道事業運営審議会」の委員を公募します

市では、水道事業の経営健全化を図るために、「丹波市水道事業運営審議会」の設置を定めています。

この審議会に広く市民のみなさんの意見を反映させるために、委員の一部を募集します。

■活動内容 / 水道事業の円滑な運営を図るために、市長の諮問に応じて必要な助言等を行う

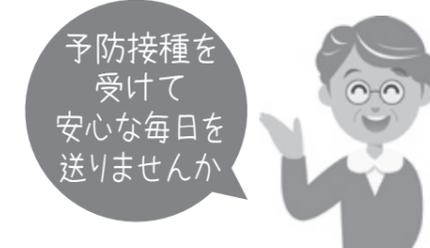
- 募集人数 / 2人以内
- 応募資格 / 18歳以上（高校生を除く）で、市内に住民登録があり、水道事業に関心のある方
- 任期 / 委嘱の日から2年間
- 委員報酬 / 条例に基づき支給
- 応募方法 / 応募用紙及び応募動機（400字程度）を提出
- 応募期間 / 5月20日（月）～6月10日（月）

詳しくは、市役所・各支所に設置している応募用紙をご覧ください（応募用紙等は市のホームページからもダウンロードできます）。

☎ 水道部業務課（柏原支所内） ☎ 72 - 0605

内部障害のある高齢者の肺炎発症や重症化を予防するために

後期高齢者肺炎球菌ワクチン... 予防接種費の助成がスタート！



- 対象者 / 次の①～④のすべてを満たす方
- ①市内に住居を有する後期高齢者医療被保険者
- ②身体障害者手帳1級から4級、特定疾患医療受給者証または特定疾病療養受療証をお持ちの方
- ③一定の障害（※内部障害）に該当し、後期高齢者医療保険料の滞納が無い方
- ④過去5年間において肺炎球菌ワクチン予防接種を受けたことがない方
- 助成金額 / 3,800円（1回限り）

- 申請方法 / 国保・医療課、市役所市民課または各支所へ、後期高齢者医療被保険者証及び身体障害者手帳・特定疾患医療受給者証・特定疾病療養受療証のうち、お持ちの手帳・証を持参のうえ、申請してください。
- ※内部障害とは…心臓、呼吸器、腎臓、直腸、膀胱、小腸、肝臓等の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害
- ☎ 国保・医療課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 6690

市長からのメッセージ 【こちら市長執務室】



丹波市長 辻 重五郎



- 決意新たに - 平成25年度丹波市消防団初出式

4月21日（日）、消防団員400人が参加し、平成25年度丹波市消防団初出式が厳かに挙行されました。

団員のみなさんには、市民の期待と信頼に応えていただくよう申し伝えました。

平成25年度予算のテーマに掲げました「誇りのもてる住んでよかった丹波市」を具現化するために、「丹波の知」と称して、若手職員を中心にメンバーを結成し、「未来創りプロジェクト」と「ツナグプロジェクト」の二つの公募型プロジェクトを始動します。

1つ目の「未来創りプロジェクト」では、少子高齢化の進行を少しでも緩やかなものとするための施策を講じます。

「未来創りプロジェクト」・「ツナグプロジェクト」がスタートします 若手職員を中心に「丹波の知」がスタートします

みなさんもご存じのように、全国的に少子高齢化が進行しており、丹波市も例外ではありません。去る、3月28日の各社新聞紙面には、国の人口問題研究支部の発表を受けて「人口減少社会の到来」の記事が大々的に報じられました。丹波市発足の約7万3千人の人口が、現在では約6万8千人と8年間で5千人程度減少しています。人口減少は、地域経済の

縮小とともに、地域コミュニティの維持すら危ぶまれる状況を生み出します。「少子高齢化が全国的な流れであるから仕方がない」と放っておくと、中長期的に危機的な状況に陥りかねません。そこで、約40才までの若手職員から12名を公募し、1年間の任期でプロジェクトチームを立ち上げ、特に、若者世代に向けて、子どもを産み育てやすい環境づくりとともに、若

者の定住を促進する施策を講じます。職員には、具体的な内容の提案を求め、年度途中であっても補正予算を組んで対応していきたいと考えています。

次に、2つ目の「ツナグプロジェクト」では、丹波市が公式運用し、現在、関西圏で2位の登録者数を有しているフェイスブックを活用して、観光客や買い物客の誘客、丹波の名産・特産物の情報発信による

これらプロジェクトを遂行し、将来に渡って安心して暮らせる道を切り拓きます。そして、「誇りのもてる住んでよかった丹波市」の実現に向けて、鋭意努力してまいりますので、市民のみなさんご理解とご協力をお願いします。

また、これまでに説明しました2つのプロジェクトに加え、「空き家・空き地対策プロジェクト」「地域経済元気アッププロジェクト」をスタートさせ、組織を横断的に巻き込み、特定課題の早期解決に向けて施策の展開を図ります。

産業振興、そして、丹波ファンや丹波の核となる人々との交流による移住・定住の促進など、つながりによる事業展開を図ります。

以上説明しましたプロジェクトは、今年度新設しました総合政策課主導のもと、組織横断的に取り組みます。

また、これまでに説明しました2つのプロジェクトに加え、「空き家・空き地対策プロジェクト」「地域経済元気アッププロジェクト」をスタートさせ、組織を横断的に巻き込み、特定課題の早期解決に向けて施策の展開を図ります。